

高温期に高い品質と収量性を実現!

NX-BP136 チンゲンサイ

第61回全日本野菜品種審査会
入賞



高温期でも葉柄が広く肉厚な「NX-BP136」

茨城県はチンゲンサイの生産量・栽培面積全国第1位

産地では梅雨明けから盆明けまでの時期でチップバーン(芯焼け)等の高温障害が問題となっています。「NX-BP136」はチップバーンに強く、5月から9月まで栽培が可能です。今後導入予定の産地と連携し、普及を目指します。

●主産地での試作結果

産地	対象品種	評価
常総地区	<p>NX-BP136 他社品種A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・8月どりでA品種と比較。高温でも徒長しづらく、1枚1枚の葉柄は広く、厚みがあった。 ・A品種は収穫直前にチップバーンが発生しやすいが、「NX-BP136」はチップバーンの発生がほとんど見られなかった。
小美玉地区	<p>NX-BP136</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長年「ニイハオ新1号」を栽培しているが、高温期の灌水管理が比較的難しい。「NX-BP136」は暑さに強く、作りやすかった。また、葉枚数が多く、調整後の形状が最高に素晴らしい。9月いっぱい播種したい。
行方地区	<p>他社品種B NX-BP136</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A品種と梅雨時期に比較。「NX-BP136」はチップバーンに強く、発生度合いに大きな差がみられた。 ・B品種は葉色が淡く、重量が軽いのが課題だった。「NX-BP136」はじっくり生育して重量がのる。また、葉色が濃いので見た目がとても良い。夏用品種として来年は広く普及しそうだ。

各産地より導入したいとの声を多数いただいております。是非ご期待ください!